

汎用人工知能（AGI）は 汎用人工知能（AGI）はもう来ているのか？

Forbes/Yahoo!ニュース発「AGI到達論」の 一次ソース検証と、AI×量子の現在地

DATE:

2026.09.15

REPORT BY:

Claude Fable 5.1

SUBJECT:

Mykola Maksymenko (Haiqu CTO) Statement Analysis



拡散された見出し（2026年9月14日）

「汎用人工知能・
AGI はもう来ている」

PUBLIC NOISE

ポッドキャストでの実際の発言（2026年8月28日）

「ある意味では**弱いAGI**
である。おそらく**完全に**
自己整合的ではないが、
多くの良いツールとして
すでに使える」

VERIFIED TRUTH

特定領域での「桁違いの加速」が、メディアの伝播過程で
全領域の「汎用知能の到達」という断定に変換されている。

調査報告のエグゼクティブ・サマリー



証拠の特定 (Verified Source)

発言者 (Haiqu CTO M. Maksymenko氏) と原典 (Forbes.com / NEXT ポッドキャスト) は実在し、特定済み。引用自体は一次ソースに忠実。



主張の限定性 (Limited Scope)

主張は「弱いAGI」という限定的なもの。
「AI×量子」の組み合わせで専門家の特定作業が劇的加速した実体験に基づく。



事実の留保 (Required Caveats)

コスト削減数値の独立検証の欠如や、口頭でのゲノム研究主体の誤り (Harvardではなく Sanger研究所等) など、3つの留意事項が存在。

情報はどのように伝播し、変容したか

8月28日

一次ソース

Podcast: NEXT with John Koetsier

- Maksymenko氏本人の発言
- 「弱いAGI」「自己加速的」という強い留保付きの文脈

9月10日

英語原典記事

Forbes.com

- 記者による「AGI is Here」の見出し
- 本文には「独立検証が必要」との但し書きあり

9月14日

日本語版転載

Forbes JAPAN / Yahoo!ニュース

- 翻訳と見出しの強調
- 「弱いAGI」という留保がタイトルから削られ、完全な断定調へ

記者の解釈と翻訳を経る過程で、実務家の「局所的な実体験」が「普遍的な技術的到達」へと拡大解釈された。

なぜ彼は「自己加速的 (Self-Accelerating)」と表現したのか？

博士課程での研究期間：「約半年」

過去
(人間の
のみ)

手作業による数式の構築 → コード化 → 検証

現在
(人間
+ AI +
量子)



エージェント型AIによる再構築：
「週末（約2日）」

システムが自律的に数式の誤り（バグ）を発見し、新アルゴリズムを提案・修正。

単なる計算速度の向上ではない。AIが**専門家レベルの推論と修正**を自律的に回す「**自己加速的なサイクル**」を目の当たりにしたことが、発言の真の引き金である。

ブレイクスルーを生んだ「弱いAGI」の技術スタック

フロンティアAI (Claude Fable 5.1等)

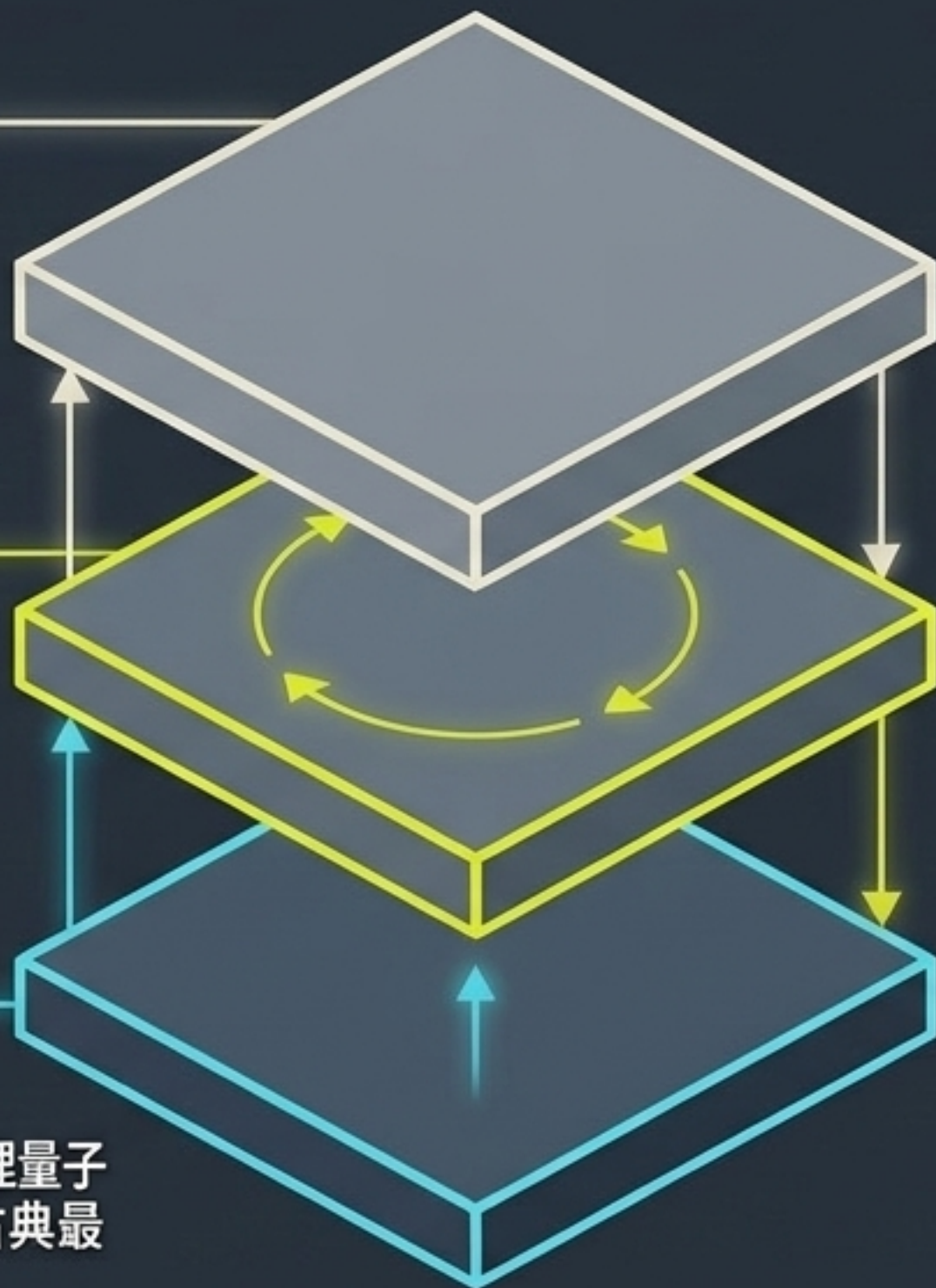
高度な論理推論とバイオ・サイバー領域の強固なガードレールを備えた基盤モデル。

AIエージェント (自己加速ループ)

専門家のワークフロー（推論、コーディング、デバッグ）を自動化・自律化する機能。

現行量子コンピューター (NISQ)

数百量子ビット規模のノイズあり物理量子ビット。かつての「玩具」から、古典最大級HPCと同等レベルで動く段階へ。



Agentic Quantum OS (Haiqu)

これらが統合されることで、専門家のボトルネックを解消し、「量子ユーティリティ」への到達を短絡させる構造が機能した。

記事の主要事実：検証と診断マトリクス

主張 (Claim)	一次ソースの裏付け (Evidence)	判定 (Verdict)
1100万ドルの調達と Agentic Quantum OSの ローンチ。	2026年1月・5月の公式発表と一 致。Altman氏の「シンギュラリ ティ」発言も事実。	✓ 確認済 (Validated)
3万ドル・9時間超が 「約25ドル・約30秒」に 低下。	Haiqu社の社内テストに基づく。 第三者 (IBM等) による独立検証は 本調査時点で未確認。	⚠ 未検証の自社主張 (Unverified)
「Harvardが3年かけた 研究」のゲノムデータを ロード。	実際の主体はHarvardではなく、 Wellcome Sanger研究所とオックス フォード大等のチーム (Q4Bio) 。	✗ 口頭の誤り (False/Error)

The Quantum Context: 「NISQの罠」 vs 「量子ユーティリティ」

懐疑論：The NISQ Trap

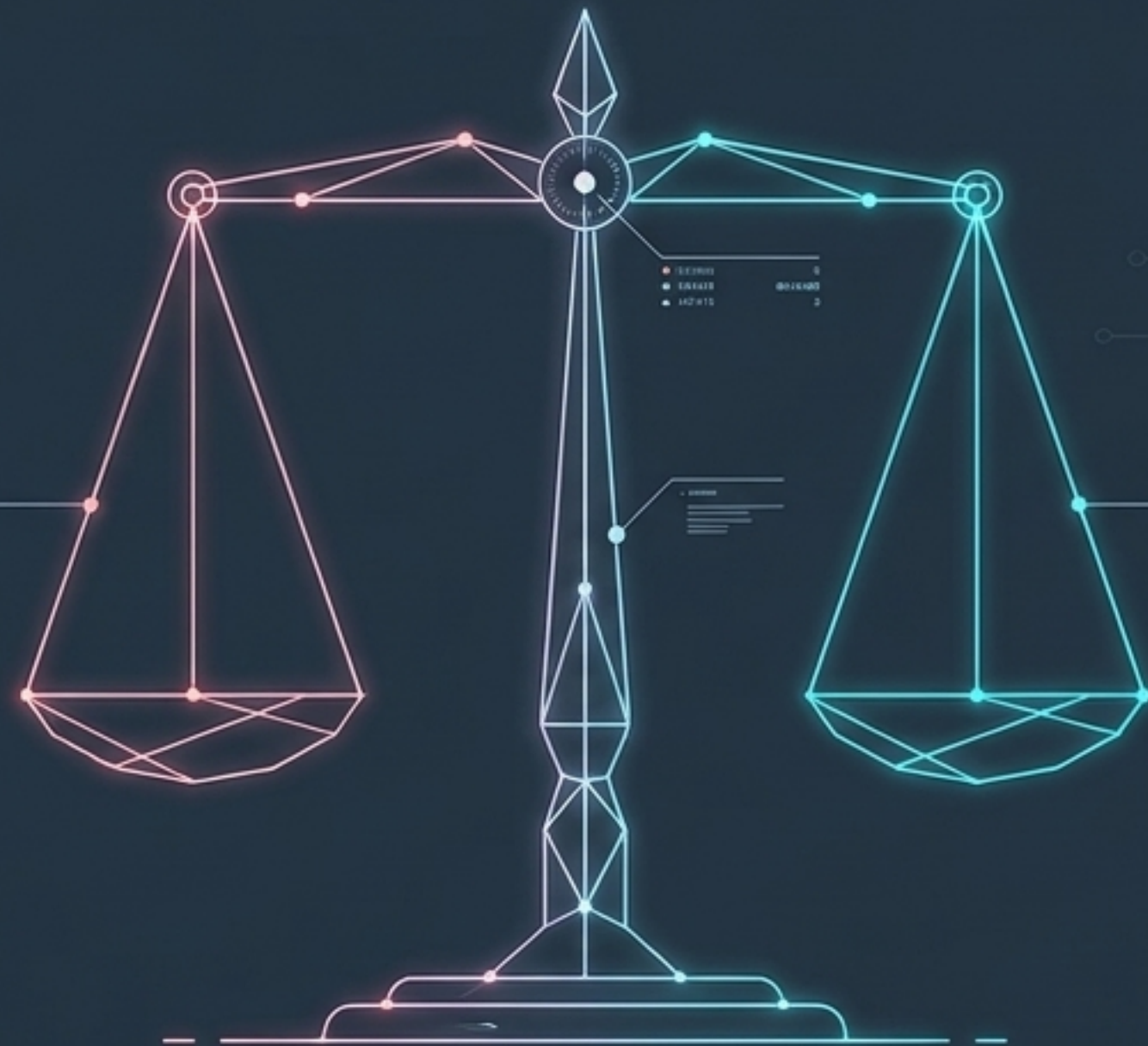
Key Figure (哲学者 Amit Hagar, 2026年)
[Monospace Label]:

ノイズあり量子機 (NISQ) の「優位性」の主張は、例外なく18カ月以内に古典計算によって再現・反証されてきた。

実用化論：Quantum Utility

Key Figure (Scott Aaronson, Eisert & Preskill)
[Monospace Label]:

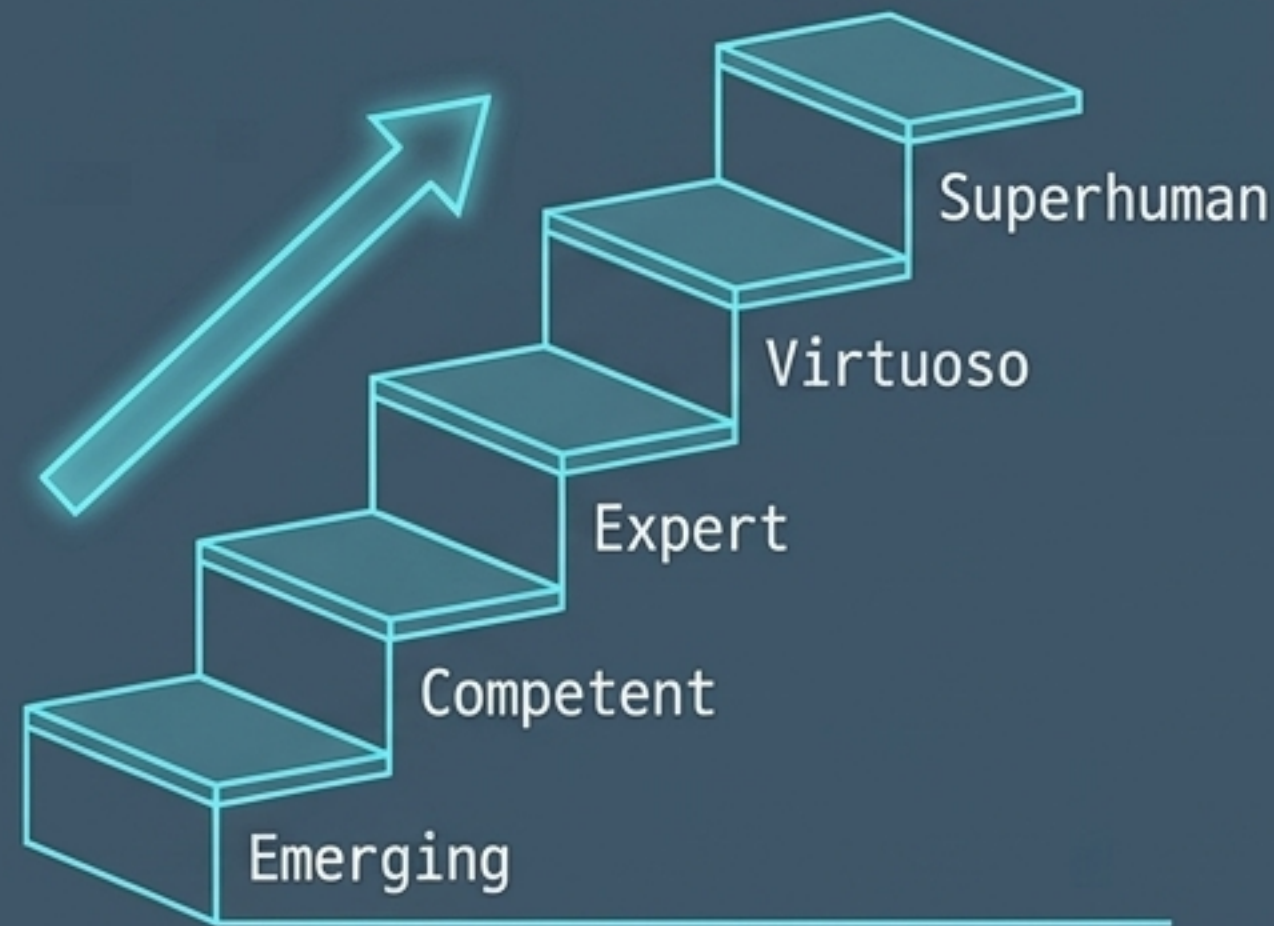
100量子ビット程度の計算で既に明確な実務的優位性 (実用性) が出始めている。NISQは失敗していない。



結論: Haiquの「コスト劇的削減」の主張は、まさにこの天秤の最前線にある。外部機関による独立検証（またL（または古典計算による反証）が出るまでは、慎重な評価が求められる。

The AI Context: AGI定義論争と「ギザギザな知能」

AGIには合意された定義がない



企業ごとに基準が乱立。OpenAIは「経済価値の大半で人間を上回る」と定義し、Astraで「到達」を主張。

Jagged Profile (Cattell-Horn-Carroll理論)



Hendrycksらの検証（2025年10月）では、GPT-5の汎用性は57～58%。特定タスクには卓越するが、「長期記憶の格納」などは0%。

一部の卓越した能力（特定領域での桁違いの加速）と、全領域の「一般知能」を混同してはならない。

AGI到達論争：主要論者の立ち位置マッピング (2026)



統合：Maksymenko氏の「真の立ち位置」

未到達（5～10年先 / 概念的誤り）

局所的到達・限定的（**「かろうじて有能」**）

既に到達

current year 2026

Mykola Maksymenko
(Haiqu CTO) - 局所的到達・**弱いAGI**

• Jensen Huang (NVIDIA):
AGI has arrived

- 同氏の主張は「**AGIの客観的・普遍的な到達**」ではない。
- 科学研究という「**特定領域**」における、AIエージェントによる「**桁違いの作業加速**」の**実体験**である。
- フロンティアモデル（Claude 5.1等）の実力と、実務家が感じるAIの「**ギザギザな能力**」を踏まえれば、この「**弱いAGI**」という**限定的主張は極めて説得力がある**。

Actionable Takeaways: このニュースの正しい引用と活用法

避けるべきこと



~~見出しの「AGIはもう来ている」をそのまま事実として拡散しない。~~

~~「コストが3万ドルから25ドルになった」という数値を、確定した事実として引用しない（社内テスト段階）。~~

~~ゲノム研究の主体を「Harvard」と語らない（誤り）。~~

実践すべきこと



必ず本人の「弱いAGI（特定領域での加速）」という留保条件をセットで言及する。

AGI論争の「対立軸（未達 vs 到達）」の文脈に置き、本件が「局所的加速派」の事例であることを明示する。

ゲノム研究の正しい主体（Wellcome Sanger 研究所とQ4Bioチーム）に訂正して引用する。

Future Indicators: 判断を更新する3つの監視基準



1. 独立検証の有無 (Quantum Utility)

Trigger: Haiqu社の成果に対し、IBM等の第三者機関による査読・再現結果が出るか。

Action: 確認されれば、自社主張の「信頼度を上げる」。



2. 古典計算による反証 (The NISQ Trap)

Trigger: 18ヶ月以内に古典HPCによって、同様の計算コスト削減が再現されるか。

Action: 古典で反証された場合、量子独自の優位性としての「評価を下げる」。



3. 汎用認知スコアの推移 (AGI Benchmarks)

Trigger: 「A Definition of AGI」における長期記憶等の0%スコアが、人間水準に達するか。

Action: ギザギザのプロファイルが円形に近づくか（真の汎用性の到達）を継続監視する。



調査報告書情報

Subject Article: 'A Quantum Physicist Told His Team I Think AGI Is Here.' (Forbes / Yahoo!ニュース 2026.09.14)

Investigated by: Claude Fable 5.1

Date of Synthesis: 2026.09.15

「ノイズの中からシグナルを見極めること。それが技術革新の真の現在地を知る唯一の手段である。」

(End of Document)